

木のすまい新聞

「シリーズあれから3年」

人は誰も地球上のどこかで終の住処を構えるときには、覚悟が必要です。自分と家族の都合、近所づきあいとか、老後の環境とか、あれこれ思い悩み、逡巡し、やがて覚悟に到達するものです。ただ願わくは、そんな覚悟も明るく前向きなものであれと考えますよね。

巷間、自然災害や突然の事故とか、酸鼻を極めるニュースは枚挙にいとまがありません。できればナーバスにならず、今後の人生を送る場として、元気で笑顔で暮らせる土地と家に巡り合えたらどんなに幸せだろうか。エゴノキ、ガマズミ、ドウダンツツジ。春の花木が一斉に芽吹き始めたところ週末の午後、そんな話からスタートした家造りでした。

「オリフシ村と呼んでいます...」
私たちが丹波地方のいい所を、焼き菓子などの折り詰めのように詰め込んだ分譲地計画の概要をお伝えすると、初めて聞く昔ばなしみたいに、不思議そうに聞き入っておられたお施主様。

「隣地境界線にフェンスやブロックなどの塀をこしらえてはいけないルールなんです...」
あえて境界に構造物を設置しないことで生まれるお隣さんとの緩やかな

木のすまい仕様の家 オリフシ村に夏が来た

連帯。これこそ昔、子どもの頃から感じていた地域の一体感であり、安心感なのであると。
「フェンスの代わりに木を植えましょう。それが境界の目印です。それでいいんです」
多少、強引に、かなり前のめりに(笑)ご説明したものを、よく了解してもらったものだとは少し懐かしく思います。
はたして、オリフシ村のこの家では、ご近所の子どもたちも夕昏まで夢中で遊ぶ。庭から始まり、隣人や地域が田園と繋がっていく小さな丹波。私たちコトスの理想の村ができました。



パッシブを取り入れた日本の住宅

自然の力を取り入れて、快適な生活を送るための考え方に「パッシブ(受動的)」という言葉があります。最近の家づくりにおいてよく使われますが、日本では昔から建築に取り入れられてきた知恵でもあります。その一例をご紹介します。

掘った地面の周囲に柱を立て、その上から葦などの植物で屋根をかぶせた堅穴式住居はその典型。地中の温度は地表の温度に比べ安定していて、夏は少し低く、冬は少しあたたかく感じられます。また、茅葺の屋根は風雨をしのぐと同時に、空気の層をたくさん抱え込んでいることで断熱材としての性能もあります。また、雨が降り湿気の多い時期にはその水分を蓄え、晴れた日にはそれを蒸発させ湿度を調整する特徴もあり、実によくできたパッシブ建築です。

そのほか、風の強い地方で風除けのために作られた防風林、豪雪地帯で雪下ろしが容易に出来るように屋根を急勾配にした合掌造りなどもパッシブの工夫といえます。また、三方を山に囲まれ風が吹きにくい京都の町屋では、建物の奥に坪庭を設け、そこに水を撒いて気化熱による温度差を利用することで風を呼び込む生活の知恵もパッシブといえるでしょう。

ひょうご木のすまい協議会

会長 三波 圭介

木の家
ひょうご木のすまい協議会
Vol. 68
September
October
2018

ひょうご木のすまい協議会からのお知らせ

WEB住宅展示場開設

ひょうご木のすまい協議会のホームページに、WEB住宅展示場を開設しました。ひょうご木のすまい協議会に加盟している各社のモデルハウスを、いろんな角度から見学できます。ぜひ、ご覧ください。 URL <http://hyogo-kinosumai.com/pano/>

ひょうご木のすまい協議会
住宅展示場
HOUSE EXHIBITION PLACE
ひょうご木のすまい協議会の家を
360°ビューで見学しよう!

兵庫県庁林務課からのお知らせ

兵庫県の木造住宅ローンのご案内

【融資制度の概要】

融資利率1.0%固定(平成30年9月30日融資実行分迄)

●新築・増改築

融資限度額:2,300万円※1(返済期間25年以内※2)

※1)その他条件により、融資限度額は最大3,200万円までアップします。

※2)県産木材を60%以上使用し、長期優良住宅の場合は返済期間は35年以内に延長可能です。なお、26年目以降の利率は2.0%になります。

●リフォーム

融資限度額:500万円(返済期間10年以内)

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

URL https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk14/af13_000000017.html

兵庫県 木造住宅ローン